

第 663 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

フリートーク

(今年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び放送全般について意見交換)

令和 2 年 12 月 17 日

BSN新潟放送

第 663 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 2 年 12 月 16 日 (水) 午後 5 : 00～

2. 開催場所 新潟市中央区 「西堀 かいの」

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古 賀 豊	副委員長	佐 藤 元
委員	小 島 良 子	委員	石 坂 智恵美
委員	渡 邊 信 子	委員	三井田 由 香
委員	馬 場 幸 夫	委員	高 木 言 芳

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

委員	稲 荷 善 之	委員	殖 栗 道 郎
----	---------	----	---------

○放送事業者側出席者

社 長	佐 藤 隆 夫	専務取締役	島 田 好 久
メディア本部長	五 十 嵐 幹 史	編成局長	苅 部 秀 治
情報センター長	小 湊 潤		

事務局 金 山 英 功 (編成局テレビ編成部部長)

4. 議 題

1 報告事項 令和 3 年 1 月の番組について (各局長)

2 審議事項 フリートーク

(今年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び放送全般について
意見交換)

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、各局長からの1月度番組報告に続いて、今年7月から12月に放送したラジオ・テレビ番組（自社制作番組・TBS等ネット番組）及び放送全般について意見交換が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- コロナ禍での番組作り・取材等苦心されたことと思う。ニュース等、この1年間の伝え方の変遷を教えてほしい。
この状況下でやるべきこと（手洗い・うがい等）は飽きずに伝えてほしい。
- コロナ禍でテレビを見る機会（時間）が増えた。ドラマをはじめ、コロナ禍前後の視聴率の変化を知りたい。
- ドラマでは「半沢直樹」が圧倒的に面白かった。「私の家政夫ナギサさん」も面白かった。生き方の多様性が感じられた。
- ワイドショーを見ていて、Go Toが無くなって困っている人を紹介していたが、取材する優先順位が違うのでは？
- （水曜見ナイトの）非日常のロケの中、伊勢みずほさんの取材先への温かさを身に染みて感じた。
- 「がちりマンデー」は企業への着眼点が素晴らしく、いつも発見がある。
「サンデーモーニング」は「風をよむ」のコーナーなど、視聴者に考えるきっかけを与えてくれる。
- TVというメディアは信頼度が高いので、放送された情報を国民は信じてしまう。情報を正しく伝えることはとても大事。
- 世界史的なできごと（新型ウイルス）でコロナという名称が使われるのは正しいとは思えない。メディアの責任では？

【文責・番組審議会事務局】